

### I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 1 ）箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

- ・スクール形式、グループワーク形式の両方に対応できる研修室であること
- ・県内各地からの交通アクセスが良いこと
- ・受講生用の駐車スペースがあること
- ・会場使用料が予算内であること

3. 研修開催回数 延べ（ 4 ）回

### II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)  
（開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（ 46 ）名	（ 40 ）名
第2回	（ 46 ）名	（ 40 ）名
第3回	（ 46 ）名	（ 40 ）名
第4回	（ 46 ）名	（ 40 ）名

※ 受講決定者数41名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（ 46 ）名	（ 41 ）名
診療所	（ ）名	（ ）名
助産所	（ ）名	（ ）名
介護老人保健施設	（ ）名	（ ）名
指定訪問看護事業所	（ ）名	（ ）名
その他 （ ）	（ ）名	（ ）名

※ 受講決定者数41名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 6 )名
100～200未満	( 13 )名
200～400未満	( 14 )名
400床以上	( 8 )名

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	( 0 )名
看護副部長	( 0 )名
師長	( 7 )名
係長・主任	( 25 )名
スタッフ	( 8 )名
その他	( 1 )名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

- (1)施設の各部署において、中心的な立場で新人看護職員研修を担当している者
- (2)実地指導者への助言や指導、および、新人看護職員への指導評価を行っている者
- (3)研修期間中、継続して受講ができる者

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

・県内の全病院施設に文書で通知

### Ⅲ. 研修内容に関すること

#### 1. 受講形式

A 全日程を受講することを基本としたコース形式

B 講義毎に部分的に受講する形式

#### 2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
11月	部署における 新人看護職員 を教育する体 制づくり	5	講義 1. 新人看護職員をめぐる現状と課題 2. 新卒看護職員の特徴と課題 3. 看護教育における生涯教育 4. 新人看護職員研修体制について 5. 看護教育方法の視座 「わかること」と「できること」
12月	部署における 新人看護職員 研修の立案と 評価	5	講義・演習 1. 自施設の新人看護師教育において、新人にどうなってほしいのかのビジョンを明確にする 2. ビジョンに基づいて、 「新人にどんな仕事をしてもらいたいのか？」 「そのために私は何ができるのか？」 「まわりのスタッフに何を助けてもらいたいのか？」 を行動レベルまで明文化し、実際に行動する力をつける
12月	組織における リーダーシップ	5	講義 スタッフと適切な関係性を築くコミュニケーション能力 1. リーダーシップの要件 2. 心理話法(コミュニケーション法) 3. ロジカルシンキング
1月	実地指導者の 育成・支援	3	講義・演習 1. 実地指導者の育成・支援について、問題や困難と感じやすい状況、およびその解決方法から理解する 2. 上記1によって、実地指導者・スタッフが無理なく新人を指導できる体制を整えられる
1月	教育担当者研 修会のまとめ	2	講義・演習 1. 所属部署の現状の課題を整理し、問題解決の糸口を見出す 2. 上記1によって、次年度への改善点が見出せ、次の担当者に書面をもって申し送りできる

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

#### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 1 )名  
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( )名  
 施設の教育担当者(教育責任者等) ( )名  
 専門看護師・認定看護師 ( )名  
 その他 ( 2 )名

その他の職種： 職種等(看護コンサルタント) ( 1 )名  
職種等(教育コンサルタント) ( 1 )名  
職種等( ) ( )名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 1 )日 ( 5 )時間

5. 4. の内訳 講義 ( 5 )時間 演習 ( )時間

※ 講義の中に演習(グループワーク、個人ワーク)を取り入れながら進行した

その他 ( ) ( )時間 オリエンテーション ( )時間

#### IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・研修プログラム検討委員会に県内の研修責任者の代表者を2名招聘し、「教育担当者研修会」への要望や提案を聴いた。この2名は、公的病院と私立総合病院に所属する者で、昨年度の研修責任者研修会の修了者である。

・研修責任者研修会に比べて、受講生の職位・経験年数・新人看護職員研修における役割、および、研修制度に関する認識・意欲に違いがあることが予測された。その点を講師に伝え、プログラムについて打ち合せを進めた。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

アンケート結果より

・研修制度が努力義務化された経緯や制度の概要について、受講者に共通認識が得られた。

・「実地指導者の育成・支援」に関する講義・演習は、他のテーマよりも「理解できた」「実践に役立つ」とのリカート回答が少なかった。このテーマは、教育担当者の役割の中で最も重要度が高いものである。受講生に何らかの手応えを得てもらうために、講演を一方的に聴く形ではなく、個人ワーク・グループワークをふんだんに取り入れた構成としたことで、緊張感の高い時間になったようだ。しかし、自由記載欄には、今後の具体的な行動計画や活動方針について様々な記載があった。

・受講生の13%が非教育担当者であった。受講生のレディネスに比べて講義のレベルが高く、主体的積極的に受講できていない状況もみられたが、アンケート結果からは講師陣に対する満足度が高く、各々の立場で学びや収穫があったことも分かった。

以上より、事業目的は達成できたと評価する。

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託    A 委託していない     B 委託している    委託先( 社団法人石川県看護協会 )